

2023年 年頭所感

不二製油株式会社
代表取締役社長
大森 達司

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に関連して「まん延防止等重点措置」が東京や大阪、愛知など18都道府県に発出されましたが、3月の解除以降は経済活動の再開が進み始めました。コロナ禍で大きな影響を受けた外食やお土産の市況は回復基調となる一方、昨年2月からのウクライナ情勢により、食料安全保障、エネルギーコストの上昇、サプライチェーンの分断、各国の金利政策変更に伴う為替変動等、多くの原料を輸入に頼らざるを得ない弊社にとりましては厳しい経営環境の一年となりました。また、サステナビリティに関する議論が国内外で活発化しています。世界の人口増加や地球環境等に対する関心は日本でも広がりはじめ、お客様からパーム認証油や植物性食品（Plant-based Food PBF）に関する多くのお問合せいただいております。

このような環境下で、不二製油グループは中期経営計画「Reborn2024」を策定しました。「事業基盤の強化」「グローバル経営管理の強化」「サステナビリティの深化」を基本方針とし、不確実な社会変容に対応し、新しい価値を生み出せる企業グループへ生まれ変わる覚悟のもと、当中計の実行を進めております。あわせて2030年ビジョン「植物性素材でおいさと健康を追求し、サステナブルな食の未来を共創します」を掲げ、昨年7月には2030年ビジョンを達成するための活動を牽引するフラッグシップ「GOODNOON」を発表いたしました。植物性素材で驚きのおいしさを実現し、食の選択肢を広げていく、付加価値の高

い製品を展開してまいります。近年注目されている大豆ミートでは、「肉の様な繊維感や噛み応え」と、「口どけ」の両立を実現した「プライムソイミート」を発売し反響を得ております。チョコレートでは乳原料不使用ミルク風チョコやホワイトチョコを開発いたしました。加えて2023年は動物性の風味を再現したPBF調味料の事業を本格化すべく、必要なリソースを配分し注力してまいります。

また、サステナビリティに関しては、主要原料の一つであるパームにおいて、RSPO認証油の取扱い量拡大をはかります。またカカオ豆の生産地の課題に対し独自基準の支援プログラムである「サステナブル・オリジン」を策定しました。昨年6月より当プログラムを適用したチョコレート製品「カカオクオリー」の販売を開始し、拡販を進めております。

弊社は、お客様や地域社会、地球環境に真摯に向き合う「社会課題解決型」の企業として、皆様に選ばれる持続可能な企業を目指してまいります。

引き続き一層のご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。